

## 2020年度結果報告書の考え方について

具体的な取組み（小柱）ごとの「2020年度の主な取組みと成果」「K P I 進捗状況」「今後の取組みの方向性」に記載されている内容を踏まえ、

- ・ コロナ禍における県の取組みに対する意見
- ・ WITHコロナでの県の今後の取組みに向けた意見

など、今後、施策を推進する上で対応が求められる課題や施策運営の改善を図るべき事項などについてご意見をいただきます。



部会終了後、いただいた意見を事務局で整理し、「神奈川県地方創生推進会議の意見」として報告書に記載します。

- ・ 例年、報告書作成に当たっては、県の事業部局が基本目標の実現に向けた施策の最小単位である「小柱」ごとに、「小柱」に位置付けた主な取組みの進捗状況や成果を基に「一次評価」（県民に分かり易く示すため、「順調」「概ね順調」「やや遅れている」「遅れている」の4段階評価）を行ってきました。
- ・ しかし、2020年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、感染症対応により県事業の中止・規模縮小等、十分な事業実施を行うことができなかったことから、例年並みの県による「一次評価」は実施せず、本素案では、①2020年度の主な取組みと成果、②K P I の進捗状況、③今後の取組みの方向性に絞って記載しています。
- ・ 当部会においても、例年は、県の一次評価を踏まえて、第三者の立場から、基本目標ごとに二次評価（県一次評価同様の4段階評価）を行うとともに、各基本目標の達成に向けて、今後、施策を進める上で対応が求められる課題や施策運営の改善を図るべき事項についてご意見をいただけてきました。  
2020年度の報告書については、基本目標ごとの二次評価（4段階評価）は行わず、コロナ禍における県の取組みに対する意見、WITH コロナでの県の今後の取組みに向けた意見をいただき、最終的には、それらの意見を整理の上、『結果報告書』として作成（例年は『評価報告書』として作成）したいと考えています。